

生活科部

研修テーマ 「子どもがいきいきと活動できる単元構成」

1 はじめに

子どもがいきいきと活動できる単元を構成するには、どのような視点を持ち、どのように工夫をすればよいか。生活科の学習における指導のあり方もふまえて、研修を進めていきたいと考え、以下の研修内容を計画した。

2 研修の概要

- 4月21日（木） 組織の構成、役割の分担、計画の作成
会場：阿賀野市立保田小学校
- 6月 8日（水） 講話「ザリガニの飼い方」
会場：阿賀野市立保田小学校
講師：三市北蒲原郡地区理科教育センター専任職員 長谷川徹 様
- 11月29日（火） 実習「身近な材料を使ったおもちゃ作り」
会場：阿賀野市立保田小学校

3 研修の実際

(1) 実習「ザリガニの飼い方」

第2回の研修では、この時期に生き物を飼育する単元があることから、三市北蒲原郡地区理科教育センター専任所員の長谷川徹先生から、ザリガニの飼い方についてお話を聞いた。ザリガニの持ち方から、えさのあげ方、どのように環境を整えたらよいかなど、飼育する上で必要なことがわかった。また、ザリガニをそれぞれの学校に持ち帰り、学級で飼育することでこの講話で学んだことをすぐ実践することができた。

(2) 実習「身近な材料を使ったおもちゃ作り」

第3回の研修では、身近にある材料を使っておもちゃ作りの実習を行った。紙コップ、割り箸、洗濯ばさみ、輪ゴム、クリップ、牛乳パック、トイレットペーパーの芯などを用意し、意見交換しながら教科書に紹介されているおもちゃを作った。実際に作ってみると、動かすのが難しいおもちゃがあったり、子どもには難しいところがあったりすることがわかった。おもちゃ作りをしていくなかで、よりよいつくり方や工夫などについて意見交換と情報交換ができ、有意義な実習であった。

4 おわりに

新学習指導要領の全面実施で、指導方法や指導上の工夫の悩みなどがあるが、この研修をするなかで解決の糸口が見えてきた。今後は、この研修で学んだことを各部員が実際の指導の場面に生かし、そこで気付いたことを各学校の指導計画の改善に役立てていくことが課題である。